壁掛け電波時計
取扱説明書　品番：YXI062-12

●この度は当社製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
●使用前にまず取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
●取扱説明書はいつでも見られるようにお手元に保管いてください。
●本製品は日本国内においてのみ使用可能です。
This product can be used only in Japan.

MADE IN　CHINA

電波時計について

●電波時計とは

電波時計とは、標準電波を受信して、時刻を自動修正する機能を持った時計です。

※標準電波とは…日本標準時(JST)をお知らせするために、情報通信機構が運用している電波です。

情報通信機構 HP … http://jjy.nict.go.jp

●標準電波の送信停止について

標準電波は 24 時間継続して送信されていますが、定期点検や落雷などにより送信を停止することがあります。

●電波受信の範囲について

送信所から 1000km 離れた場所でも受信可能です。ただし、電波状況（太陽活動、天候、季節、時間帯、設置場所あるいは地形や建物の影響など）により、受信できない場合があります。

安全上のご注意　※はじめにお読みください

ここに記載した注意事項は、あなたや他の人への危害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

表示の説明

警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害をが負う可能性が想定される内容および物質傷害の発生が想定される内容を示します。

安全にご使用いただくために

●取扱説明書に記載されていない方法や目的でのご使用あるいは、用途以外の目的でのご使用は事故やけがの原因となりますので、絶対におやめください。
●お客様の不注意による破損やけがに対する責任は負いかねますので予めご了承ください。
●万が一、故障していたり故障と思われる場合はご使用にならないでください。
●取扱説明書の使用ガイドライン、指示が守られない場合は責任を負いかねます。
●お子様の近くで使用しないでください。

時計の取り扱いについて

警告

■誤飲による事故防止について

誤飲禁止

小さな部品や電池は、幼児の手の届かない場所に置いてください。万一飲み込んだ場合は、すぐに病院に行き、医師の治療を受けてください。

注意

分解禁止

分解したり、改造したりしないでください。

禁止

時計は精密機器です。落としたりして衝撃を与えないでください。故障の原因になります。

時計の設置について

時計の設置の仕方が不適切な場合、時計が落下して思わぬ事故やけがの原因となります。

注意

必ず実施

・垂直な場所に掛けてください。傾けると掛け具がはずれて落下するおそれがあります。
・掛けたときは、上下左右に軽く動かして、しっかり設置されているかどうか確認してください。
・市販の掛け具を使用するときは、壁掛け穴にしっかりと引っ掛かるものを選んでください。
・ドアの閉開の振動が伝わらない場所に設置してください。

禁止

下記のような場所では使用しないでください。
精度不良や時計、電池の寿命が短くなります。

・温度が＋40℃以上になるところ
・長時間日光が当たる場所や暖房器具の熱風や火気の近く
・温度が 0℃以下になるところ
（プラスチック部分や電池の劣化が起きることがあります）
・浴室など湿気の多いところ
・ほこりが多く発生するところ
・テレビ･OA 機器･オーディオの近くなど強い磁気が発生するところ
(磁力の影響で時計の進みが遅くなったり、動きが止まることがあります。)
・ドアの近く、車中や船舶、工事現場など振動の激しいところ
・温泉場など、ガスの発生するところ
・多くの油を使用するところ
(霧状になった油分が本体に付着し、汚れや止まりの原因になります。)
・室外

電池について

電池の使い方を間違えると、発熱・破裂・液漏れなどにより、人体や時計を傷めるおそれがあります。

警告

・電池から漏れた液が目や皮膚についたら、すぐに水道水で洗い流し、医師の治療を受けてください。
・アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性があります。
・ショートさせたり、分解・加熱・火に入れるなどしないでください。液漏れ・発熱・破裂の原因になります。

注意

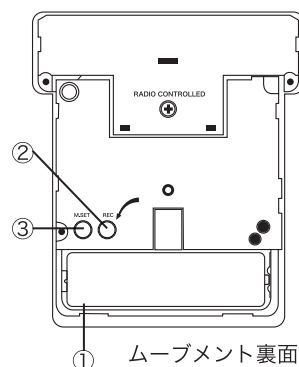
必ず実施

下記の使い方を守って正しくご使用ください。

・オキシライド乾電池、充電式乾電池は使用しないでください。
・＋（プラス）－（マイナス）を逆に入れないでください。
・単３電池をご使用ください。
・使いきった電池は速やかに取外してください。
・長期間使用しない場合は、電池を取り出してください。
・電池交換は、新しい電池と交換してください。
・電池は、幼児の手のとどかないところに保管してください。

各部名称

①電池ホルダー
単三アルカリ電池を入れます。
②REC ボタン
強制受信のときに使用します。
③M.SET ボタン
手動設定を行うときに使います。

ムーブメント裏面

ご使用方法

①電池を入れる

・単３乾電池(1.5V)を電池ホルダー内の⊕と⊖の向きに合わせて入れます。
※⊕と⊖を逆に入れると時計は動きません。

②針が動いて電波を受信する

・電池を入れると針が動きだし、全ての針が 12 時の位置で停止し、電波受信状態になります。
・電波受信には、およそ３分〜16 分かかります。

※電波受信状態のとき、針が止まったままになりますが故障ではありません。
※電波受信中はボタン操作はしないでください。
※受信環境によってかかる時間は異なります。

③受信結果がでるまでそのまま待つ

・電波を受信し終わると、自動で正確な時刻を指します。

●16分以上経過しても正確な時刻を指さないときは…

12時00分00秒で停止から20分以上経過しても受信できなかった場合に、針はその位置から通常の運針を始めます。以下の方法をお試しください。

朝までようすをみる

夜間は比較的電波状況が良くなるので受信する可能性が高くなります。

手動設定を行う

手動で時刻設定を行ってください。

場所を変える、強制受信を行う

RECボタンを押して違う場所でもう一度電波受信を試すか、強制受信を行ってください。

■手動設定

※電波受信中(12時00分00秒で停止中)は、手動による時刻設定はできません。必ず通常運針中に操作してください。誤作動の原因になります。

①**M.SETボタン**を3秒間押します。
②一度ボタンを離して、再度**M.SETボタン**を押すと長針が1分ごとに進みます。1秒以上押し続けると、針が進み続けます。
③時刻を合わせたら、5〜6秒後にその位置から通常運針をはじめます。

※約5〜6秒以上何も操作しないと、その位置から通常運針をはじめます。その場合はもう一度M.SETボタンを3秒以上押して、設定してください。

■強制受信

①**RECボタン**を3秒間押すと強制受信になります。
②針が12時の位置で停止し、受信状態になります。
③16分間受信できなかったときは、「強制受信を始める前の位置」から再び始動します。
※電波のとどきやすい窓際などでお試しください。

■リセット操作について

①操作中に不明な点が出てきた場合は、電池を一旦、電池ホルダーから取外し、数分たってから再挿入してください。設定されているないようが初期状態に戻ります。
※リセットした後に、電波受信しやすい窓際などに、時計を移動させてお試しください。

電波時計使用上の注意

次のような場所は受信が困難ですので、このような場所は避けてご使用ください。
●鉄筋・鉄骨の建物の中や地下（ただし窓際は比較的受信しやすくなります。）
●空港、交通量の多い道路、工事現場も近くなど、電波障害の起きる場所
●山やビルなど電波を遮るものの近く
●高圧送電線、ラジオやテレビの送信所、電車の架橋近く
●家電製品やOA機器、通信機器など強い磁気が発生するところ
●金属面（床、壁）に接して設置した場合

この他にも、大気の状態や天候・気象の状況などによって受信機能が制限され、受信できない場合があります。

お手入れについて

・汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水をやわらかい布に少量染み込ませて拭き取り、その後からぶきしてください。
・ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は使用しないでください。
・静電気により、時計および掛けた壁面が汚れることがあります。定期的に汚れを落としてください。

故障かなと思ったときは

製品が正常に動作しないときは、修理を依頼される前に一度お調べください。

●まずは電池をご確認ください。

・電池残量が少なくなってくると、秒針が目に見えて遅くなったり誤表示の原因となります。

●その他の症状

症　状	原　因	処　置
時計が数秒程度の違いで動いている。	――	そのままでも、電波自動受信後に修正されます。
時計が数分程度の違いで動いている。	電波の受信に失敗している可能性があります。	強制受信、リセット操作をした後、窓際など電波の受信環境の良さそうなところで電波受信をお待ちください。
時計の時間が全く異なる時間で動いている。	時刻電波以外に反応して誤作動・誤受信を起こしている可能性があります。	
12時で時計が止まっている。		

製品仕様

項目	仕様
■型式	YXI062-12
■使用温度範囲	0℃〜＋40℃
■使用電池	単三形乾電池（1.5V）
■外形寸法	Φ31.5 × 高さ 4.5cm
■本体重量	830g
■常温での時間精度	±1 秒 (電波受信による時刻修正の直後)
■自動受信回数	７回／１日
■受信電波	標準電波（JJY)、周波数 40kHz/60kHz
■材質	合板、MDF 繊維板、鉄、プラスチック